

令和6年度東北ブロック地域包括・在宅介護支援センター
職員研修会報告書

【開催方法】

初日のみZ o o mを利用したのオンライン開催、2日目はハイブリッド方式（会場参集+WEB）で開催。

会場参集は県内外問わず参加可能とし、2日目に任意参加にて昼食会を実施した。
一人につき2日間の参加費にて参加者を募集。

○開催日：令和6年11月14日（木） 13：30～15：20
令和6年11月15日（金） 11：30～12：35 昼食会
12：40～16：30 研修会

○会 場：14日（木） 秋田県社会福祉会館 7階 第1・2研修室（秋田市）
会場からオンラインによるライブ配信を実施
15日（金） 秋田キャッスルホテル 4階 放光の間（秋田市）
参集及び会場からオンラインによるライブ配信を実施

○参加者数（両日）

会 員：80センター 136名
非 会 員： 6センター 6名
会長・事務局： 13名
合 計：86センター 155名

○当日従事者（運営スタッフ）

秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会理事： 4名
秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会幹事：10名
秋田市地域包括・在宅介護支援センター連絡協議会： 5名
秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会事務局： 4名

【11月14日（木）】

開会挨拶

秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会

会長 阿部 公一

基調報告

演題：「全国地域包括・在宅介護支援センター協議会の取組
～全国社会福祉協議会の種別協議会として～」

講師：社会福祉法人全国社会福祉協議会
全国地域包括・在宅介護支援センター協議会
副会長 川北 雄一郎 氏

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会の動き、地域共生社会の実現と地域社会におけるこれからの関わり・つながりについて報告いただきました。

行政説明

演題：「地域包括ケアシステムの現状と課題
～地域包括・在宅介護支援センターに窺知される役割とは」

講師：厚生労働省老健局認知症施策・地域介護推進課 地域づくり推進室
水津 秀幸 氏

高齢者を取りまく現状や課題、地域包括ケアシステムの概要や地域包括支援センターの現状並びに国の動向について説明いただきました。

【11月15日（金）】

昼食会

バイキング形式での昼食会を実施し、アトラクションの一環で名刺交換の枚数に応じ、秋田県のお菓子や秋田県内の就労支援センターのお菓子を配布した。（参加者：68名）



開会式典

開催県挨拶：秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会

会長 阿部 公一

来賓祝辞：秋田県健康福祉部 次長 橋本 裕巳 様

社会福祉法人秋田県社会福祉協議会 常務理事 須田 広悦 様

各県・市協議会会長紹介



講演

演題：「災害体験から考える ～今からできる防災対策～」

講師：日本赤十字秋田短期大学 介護福祉学科

講師 及川 真一 氏

災害をテーマに、防災の基礎をはじめ東日本大震災から東北各県で発生している地震、大雨災害の体験談及び活動報告を通して今できる防災対策など、地域全体で環境整備を行うことの大切さについて講演いただきました。



パネルディスカッション

テーマ：「震災から学ぶ地域包括・在宅介護支援センターの役割と地域づくり」

○コーディネーター

秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会

理事 三浦 秀己

○助言者

日本赤十字秋田短期大学 介護福祉学科

講師 及川 真一 氏

○パネリスト

「災害時に対応できる地域包括支援センター～平時からの備え～」

盛岡駅西口地域包括支援センター

所長補佐 佐藤 晋作 氏

「東日本大震災後の安心、安全な暮らしを地域とともに考える

～地域づくりと日常のささえあいを住民視点で～」

石巻市渡波地域包括支援センター

社会福祉士 高橋 泰 氏

「災害対応と地域づくり～東日本大震災時の取り組みから～」

いわき市平地域包括支援センター

管理者・保健師 片寄 美由紀 氏

各パネリストからテーマに沿った事例の発表をしていただき、その後パネリスト、コーディネーター、助言者、会場参加者も交えてディスカッションを行いました。



閉会式

次年度挨拶：一般社団法人山形県地域包括支援センター等協議会

理事長 峯田 幸悦 氏



閉会挨拶：秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会

副会長 鈴木 信久 氏

